

2019年度 - 11月 - (園だより)

2019年度主題 ことばに満たされて～ひびきあう～

11月主題 共感する

11月の願い

秋の実りの豊かさや美しさにふれ、神様に感謝する

友だちとアイデアを出し合ったり、イメージを共有しながら遊びこむようになる

様々な人の働きに関心をもち、身近に感じる

好きな絵本やお話が伝わり、イメージが広がり友だちと共感しながら過ごす

さんびか きょうは うれしい かんしゃさい

聖句 はじめに、かみはてんちをそうぞうされた(創世記1:1)

神に愛されたかけがえのない存在

進級、入園から7カ月が経過し、子どもたちは園生活にすっかりと慣れ、幼稚園生活を存分に楽しんでいます。最初はお母さんと離れる事が寂しく、またお家が恋しくて直ぐに涙していた子どもたちも、近頃は泣く姿をほとんど見かけなくなりました。園生活の中で子どもたちは様々な新しい経験をし、先生たちやお友だちとの交わりを通して、神様は確かに子どもたちを育てて下さった事を痛感しています。

今月の聖書の箇所は創世記1章1節「初めに、神は天地を創造された」という言葉です。聖書はイエス・キリストが生まれる以前の出来事を記した旧約聖書と、イエス・キリストが生まれた後の出来事を記した新約聖書からなります。聖書は旧約聖書、新約聖書を合わせると約3000項にもなる非常に分厚い本ですが、その最初に記されているのが「初めに、神は天地を創造された」という今月の御言葉です。

神はこの世を最初の6日間でこの世の全てのものを造られました。太陽や月、星、山、海、木々、全ての動物、私たち人間。神は無の世界に始めから唯一存在され、この世の全てのものを創造されたのです。そして神は7日目に休息され、自らが造った被造物を眺めながら「それは極めて良かった」(創世記1:31)と満足されています。私たち被造物は、神が愛をこめて造られた尊い存在であり、一人たりとも余分な存在などはないことをこの箇所は示しています。私たちはこの言葉に従って、子どもたち一人一人を神様に愛されたかけがえのない存在として、愛を注いでいきたいと思います。

※長年地域の方々から、幼稚園下駐車場を使うことで、渋滞の原因となり、多くのお叱りを頂きました。今回それを解消するために、幼稚園から道路を挟んだ向かいに新駐車場を作りました。どうぞこの事をご理解して頂き、新駐車場をご利用して頂けますよう、宜しくお願い致します。